

Family Narrative支援活動 「未来の君に贈るビデオレター作成ワークショップ」

佐藤 朝美

東海学院大学子ども発達学科

榎本 弥生

公立はこだて未来大学メタ学習センター

朝倉 民枝

(株)グッド・グリーン



【概要】

子どもの言葉の発達 (Narrative Skill) には、**家族としてのNarrative (Family Narrative:FN)** が重要な役割を果たすという。親自身が家族としての経験の意味づけを家族内コミュニケーションにおいて行っていくことが、子どものNarrative Skillにおけるストーリーの意味づけの行為に影響する。本研究では、Family Narrative Consortium (FNC) が作成した指標を手がかりに、Digital Storytellingを活用した家族内コミュニケーションの活動をデザインし、FN 向上の支援を行った。実証実験の結果、活動により、FN の向上が観察された。

●家族の発達●

段階	詳細
新婚期	結婚から出産まで
育児期	乳幼児を育てる
発展期	児童期の子どもをもつ
充実期	長子の思春期から独立まで
向老期	末子の独立まで
老年期	親の死まで

●Family Narrativeの発達●

期間	Medium	意味	メタファ	一貫性
子ども期	想起 Reminiscence	日常の記憶を共有することで 関連付ける	私はどうやってふるまいを学ぶのか?	Narrativeと社会的能力
青年期	対話 Dialogue	異なる経験を統合することで、 根底に統一性を持たせる	私は誰?	個人のアイデンティティの確立
成人	散文的な Prosaic	関係の歴史	他者は私にとって何を意味するのか?	家族の関係性を媒介した一貫性
高齢者	新時代の Epochal	家族の保存	私の人生は他者にとってどんな意味があるのか?	家族世代を通じた継続性

~Family stories p410 「表17 生涯のFamily Storiesの要素」より

●Family Narrativeの指標●

一貫性・Narrative Coherence

内部の整合性
語られている各部分の内容がテーマと矛盾していないかどうか、テーマへの見解や意味が述べられているかどうか。

組織化
語られる内容にSW1Hがあり、文脈だてて語られているかどうか。

柔軟性
多面的に捉えているかどうか、各メンバーの視点が含まれているかどうか、内容と情動の一致、内容に対する考えやそれに対する思いが表現されているかどうか、その感情が内容と矛盾していないかどうか。

インタラクション・Narrative Interaction

夫婦のNarrativeスタイル
対話スタイルの特徴として、意見の衝突がそのままになっていないか、協力的に共同でストーリーを作り上げているかどうか。

調整
お互いに語り、家族が1つのグループとして、相手の意見を取り入れながら語っているかどうか。

夫と妻の確証/反証
相手の語りについて否定や軽蔑的な発言をせず、積極的に論拠を確認しあっているか、反対の時の意見や論拠をきちんと述べているかどうか。

関係性への信念・Relationship Beliefs

家族の各メンバーがその関係性について、安全で管理可能で信頼出来るものとみなしているかどうかの指標。

- [1] 家族はお互いに対して信頼感を持っている
- [2] 家族はいざという時に助けてくれる存在である
- [3] 家族は社会で何が起きたとしても、自分の安全な場所である
- [4] 家族はお互いのことをきちんと理解しあっている
- [5] 家族に対して不満がある

●「未来の君に贈るビデオレター」作成ワークショップ●

時間	活動・インストラクション
10:30-11:00	事前アンケートの記入/WS概要説明 WS参加者家族同士で自己紹介/家族に関する研究の紹介
11:00-11:30	ウォーミングアップ ※事前データとして分析を行う
11:30-12:00	サンプルビデオ視聴/ストーリーについての説明 ※家族Narrative向上を狙い、語りや対話におけるポイントや注意点を伝える
13:00-14:00	ワークシート*1 の記入/ワークシートの見せ合い ※葛藤や問題を導き出す
14:00-16:00	ビデオ構成・シナリオを吟味/ストーリーの流れを作成 PCで ビデオレター*2 を作成
16:00-16:30	フォローアップ ※事後データとして分析を行う
16:30-17:00	事後アンケート記入

人生設計について
学生時代に思い描いていた自分の人生 (キャリアパスor将来の夢のイメージ等何でも可) について描き出して下さい。

人生の中での「子育ての意味」について
自分の人生の中で下記の時代に「親になること」「子供を産み育てること」「子育て中心の生活を送ること」についてどのように考えていたか? 記載して下さい。また将来どの様に考えるか? 思い描くか? 各々の時期について記載して下さい。

現在感じている「子育ての意味」について
あなた自身にとって、「子育て」はどのようなものであると考えますか? 子育ての意味 (当然のもの、成長を促すもの、我慢の師、嬉しいor辛いもの、喜びや誇り) について教えてください。あなた自身にとって、「子育てしている現在」は、自分自身の人生の中でどんな時期だと思えますか?
「子育て」によって、自分の中で失っているもの、あるいは大変、辛い、苦しいと感じること、またはどうしたら良いか悩むことはありますか? それは何でしょうか?
子育てを終えたとき、自分のやりだいたいこと、あるいはパートナーとどのような暮らしをしたか、子どもとどのような関係ができたか、考えていますか?
子どもの成長とともに、家族はどのように変化していると感じますか?
あなたにとって家族とはどのようなものですか?
あなたが子どもに望むこと、願うことは何ですか? / 望まないこと、願わないことは何ですか? / どうしてそのような思いに至ったのですか?
自分の子育ての方針に影響を与えた出来事、体験、または、メディア (書籍・映画・テレビ) はありますか? それは何ですか?
自分が結婚する前の家族で、辛い、大変、嫌だなと思うこと、苦勞したことはありましたか?



シーン	シーンの概要
シーン1	家族紹介
シーン2	家族の日常で幸せな瞬間、家族の意味を感じる瞬間のシーン
シーン3	父母それぞれが感じている困難・葛藤・問題についてのシーン
シーン4	シーン3についてお互いに語り合い、解決方法について検討するシーン
シーン5	成人した子どもに向けて伝えたい家族からのメッセージ映像

参考文献

Fiese, B., and Sameroff, A. (1999) The family narrative consortium: A multidimensional approach to narratives, *Monographs of the Society for Research in Child Development*, 64(2): 1-36.

Pratt, M. W., and Fiese, B. H. (Eds.). (2004) *Family stories and the lifecourse: Across time and generations*, Mahwah, NJ: Erlbaum.

佐藤 朝美 (東京大学)・榎本 弥生 (公立はこだて未来大学)・朝倉 民枝 ((株)グッド・グリーン) (2013), 「Family Narrative支援活動「未来の君に贈るビデオレター作成WS」のデザインと実践。」日本教育工学会論文誌(論文), Vol.37, No3, 印刷中.

謝辞

本研究は、平成22~24年度科学研究費補助基盤研究(C) (課題番号:22610004 代表:佐藤朝美) の助成を受けて行ったものである。